応用柔道整復学1

科目ナンバー 7C318
専門分野 必修 1単位

清水 一彦

1. 授業の概要(ねらい)

1・2年次に学修した解剖学を総復習し、国家試験に対応できる能力を身につけることを目標とします。

授業は、演習問題と解説講義にておこないます。

国家試験は1、2年次に使用した解剖学の教科書を中心に出题されます。国家試験過去問題など演習問題に取り組み、国家試験出題傾向を修得すると共に弱点を洗いだし学びます。教科書の内容を総復習し、確実に理解します。国家試験出題率の高い部分や弱点については、その場で学ぶなど、国家試験に向けできる限り漏れのない解剖学の総括を行います。また、授業時の質問に対してグループディスカッションを行い答えてもらいます。この授業ではDPIに関する知識を修得します。

2. 授業の到達目標

- ① 運動器の基本問題を解決することができる。
- ② 循環器の基本問題を解決することができる。
- ③ 内臓の基本問題を解決することができる。
- ④ 内分泌器の基本問題を解決することができる。
- ⑤ 神経系の基本問題を解決することができる。
- ⑥ 感覚器の基本問題を解決することができる。

3. 成績評価の方法および基準

全範囲の定期試験(90%)に平常点(講義内確認テスト・レポート等)(10%)を加え、総合的に評価して最終成績とします。

4. 教科書・参考文献

教科書

岸清、石塚寛編 全国柔道整復学校協会監修教科書『解剖学』 2版 医歯薬出版株式会社

5. 準備学修の内容

予備学習として該当項目の教科書の復習を行ない、特に理解度の低い項目をチェックしておくようにして下さい。おおよそ予習に1.5時間、課題と問題解答の復習に1.5時間を見込んでいます。

6. その他履修上の注意事項

必ず手書きのノートを作成してください。

7. 授業内容

【第1回】	総論の復習と演習
準備学修:教科書(p1~20)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第2回】	神経系の復習と演習 1:中枢神経
準備学修:教科書(p217~238)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第3回】	神経系の復習と演習 2:末梢神経
準備学修:教科書(p238~259)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第4回】	感覚器の復習と演習
準備学修:教科書(p261~274)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第5回】	循環器の復習と演習 1:心臓と動脈
準備学修:教科書(p123~145)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第6回】	循環器の復習と演習 2:静脈、リンパ系
準備学修:教科書(p145~156)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第7回】	内臓の復習と演習 1:消化器(消化管)
準備学修:教科書(p157~171)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第8回】	内臓の復習と演習 2:消化器(消化腺)
準備学修:教科書(p171~177)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第9回】	内臓の復習と演習 3:呼吸器
準備学修:教科書(p177~186)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第10回】	内臓の復習と演習 4:泌尿器
準備学修:教科書(p186~192)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第11回】	内臓の復習と演習 4:生殖器
準備学修:教科書(p192~205)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第12回】	内分泌器の復習と演習
準備学修:教科書(p207~215)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第13回】	運動器の復習と演習 1:骨、関節
準備学修:教科書(p21~70)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第14回】	運動器の復習と演習 2:筋
準備学修:教科書(p70~122)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
【第15回】	テスト、まとめ
準備学修:全項目のまとめを行い、疑問点を解決するように取り組んでください。